



雫石町の観光マスコットキャラクター

「しずくちゃん」。雫石あねっこをモチーフにした、
可愛いキャラクターです。

令和3年(2021年)

雫石町観光客入込調査報告書



雫石町観光商工課

目 次

I. 調査概要

1 雫石町における観光統計調査の概要	1
(1)調査の目的	
(2)各統計調査種目	
(3)調査方法	
2 調査・本書に関する注意事項	2
(1)調査に関する事項	
(2)本書に関する事項	
3 用語の定義	4
(1)入込調査に関する用語	
(2)社会的要因に関する用語	
4 入込調査ポイント(観光施設)一覧表	7

II. 本編

1 観光レクリエーション客の入込動向	8
2 観光地年別入込状況	14
3 観光地別月別入込状況	17
4 観光資源別入込状況	21
5 利用交通機関の状況	23
6 県外教育旅行客の入込状況	24
7 外国人観光客の入込状況	26
8 2021～2022シーズン・スキー客入込状況	28
9 雫石町観光レクリエーション入込調査数の推移	30

I. 調査概要

1 雫石町における観光統計調査の概要

(1) 調査の目的

雫石町内の観光地における観光客の動向等を把握し、効果的な観光振興策を進めるための基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 各統計調査種目

①基本統計

ア. 観光レクリエーション客入込調査

観光レクリエーション客の次の項目について、毎月調査を実施。

- ・ 県内・県外別入込数
- ・ 日帰・宿泊別入込数
- ・ 利用交通機関別入込数

②その他の統計

ア. 外国人観光客入込調査

外国人観光客の入込数について、国別（日帰・宿泊別）に毎月調査を実施。

イ. 教育旅行客入込調査

学校、学習塾、スポーツ合宿など、教育や学習の一環として訪問した教育旅行客の次の項目について、毎月調査を実施。（教育旅行に含まれるものは、修学旅行、林間学校、スキー旅行、スポーツ合宿(大会)など。）

- ・ 都道府県別
- ・ 学校数（数）
- ・ 人員
- ・ 見学・体験等
- ・ 宿泊の有無

ウ. シーズン・スキー客入込調査

冬季の観光振興を図るための基礎資料を得ることを目的に、スキーのシーズンに合わせ、前年の12月からシーズンに該当する年の4月までを期間として、雫石町内3つのスキー場を対象に毎月実施。

(3) 調査方法

毎月調査については、依頼文書及び調査様式を送付し、様式内に必要事項を記入のうえ、メール、FAX等で担当まで報告。また、毎月の報告期限については依頼文書において照会している。

2 調査・本書に関する注意事項

(1) 調査に関する事項

本調査は、平成 21 年雫石町入込調査報告書まで岩手県の共通基準に基づいた調査により、入込客数の集計を行ない報告書にしていた。それまでに岩手県が行なっていた調査は、従来の全国共通基準に従った方法であったが、その共通基準が平成 22 年に大幅な変更となった。

これに伴い、岩手県では平成 22 年 2 月 12 日に観光入込統計に関する共通基準説明会を行ない、その中で平成 22 年調査より調査基準・施設などを大幅に変更することとした。主な変更点としては次のとおりである。

①観光レクリエーション客入込統計の主な変更点（平成 22 年 2 月、岩手県）

項目	平成 21 年以前の調査基準 [調査名：観光レクリエーション客入込調査]	平成 22 年以降の調査基準 [調査名：観光地点等入込客数調査]
調査地点	・市町村が定める調査地点	・月 1 回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満と判断される地点 ・観光入込客数が適切に把握できる地点 ・ <u>前年の入込客数が年間入込客数 1 万人以上もしくは前年の特定月の入込客数 5 千人以上の地点</u>
調査箇所数	124 観光地（754 箇所以上）	約 350 箇所
報告回数	年 4 回（四半期毎）	年 4 回（四半期毎）
公表回数	年 1 回（県観光統計概要として公表）	年 4 回（四半期毎）
共通基準に移行した場合に想定される事項	・調査箇所数が減少するため、算定する観光客数が減少する。 ・また、公表値は延人数ではなく実人員統計となる。 ・共通基準に完全移行した場合、他県等との地域間比較は可能となるが、本県の過去データとの比較分析ができなくなる。	

これは、全国共通基準に基づき岩手県で行なう調査である。しかし、市町村毎の調査については県で行なう統計調査と統一する必要がない旨の説明があったことから、雫石町で行なう入込客数調査については、以前まで行なっていた調査を一部変更し継続することとした。変更事項については次のとおりである。

②観光レクリエーション客入込統計の主な変更点（雫石町）

項目	平成 21 年以前の調査基準	平成 22 年以降の調査基準
観光資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然系観光資源（温泉以外・温泉） ・人文系観光資源（行・祭事） ・展示見学教育施設 ・野外活動施設（スキー以外・スキー） 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記標記の観光資源（4つの観光資源） ・都市型観光資源 ・その他観光資源（道の駅等） ※用語の定義を参照
調査地点	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源に伴った観光施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前までの観光施設 ・新たな観光資源により追加した観光施設 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 道の駅「雫石あねっこ」(売店・レストラン)、 味力レストラン雫(雫石銀河ステーション 内)、農家レストラン「らら」、松ぼっくり </div>
調査箇所数	94 箇所	97 箇所
公表回数	年 2 回（速報版・確定版）	年 2 回（速報版・確定版）
観光資源の追加理由	<ul style="list-style-type: none"> ・以前までの調査については、食・グルメ、その他都市型観光（買物等）、道の駅（入浴施設以外）を含めておらず、雫石町内への正確な入込客数を把握できていなかった。そこで、平成 22 年より都市型観光資源、その他観光資源（道の駅等）を追加して、より正確な入込客数を把握することとした。 ・都市型観光資源、その他観光資源（道の駅等）は、現在、岩手県が行なっている観光統計基準にあるもので、平成 22 年より新たに追加された観光資源である。この観光資源が追加になったことから、当町の統計調査でも追加することとした。 	
想定される事項	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源の追加に伴い施設を増加したため、当町の過去データとの比較分析ができなくなる懸念される。 	

（2）本書に関する事項

雫石町観光客入込調査報告書については、平成 28 年より過去 5 年間のデータが整ったことから、本編において平成 22 年以降に行なった調査基準を用いたデータで比較分析を行ない、参考資料で平成 21 年以前の調査基準を用いた平成 27 年までの推移を記載する。

3 用語の定義

本書で使用する主な統計用語の定義は、次に説明しているとおりである。

(出典先：平成 29 年雫石町観光統計調査要領)

(1) 入込調査に関する用語

①【観光レクリエーション客】

居住地が観光地の地域内であるか否か、若しくは、外出距離の遠近にかかわらず、観光レクリエーションの目的で、雫石町内の観光施設、行・祭事、イベントなどを訪問した者をいう。

②【人回】

観光レクリエーション客の入込数の単位であり、令和 3 年 12 月末日において、雫石町内の観光施設、行・祭事、イベントをゲートとしてカウントする延べ人員数をいう。

③【外国人観光客】

観光施設、行・祭事、イベントなどに、観光レクリエーションの目的で訪問した外国人客をいう。

④【県外教育旅行客】

学校、学習塾、スポーツ少年団による合宿など、教育や学習、スポーツの一環として、観光施設、行・祭事、イベントなどを訪問した県外に学校が所在する旅行客をいう。

⑤【自然系観光資源】

雫石町内の山岳、高原、湖沼、特殊地形、植物で、観光的に魅力のあるもの及び温泉をいう。

⑥【人文系観光資源】

雫石町内の神社、仏閣、庭園、町並み、旧街道、歴史的建造物、近代的建造物、史跡、名所（文学碑、銅像、墓、生家など）、行・祭事、イベント、郷土芸能、伝統工芸術、地域風俗、味覚などで、観光的に魅力のあるものをいう。

⑦【展示見学教育施設】

雫石町内の歴史民俗資料館、美術館、産業観光施設等をいう。

⑧【野外活動施設】

雫石町内のハイキングコース、自然歩道、自然散策路、テニスコート、キャンプ場、ゴルフ場、スキー場、観光農林業、観光牧場、レジャーランド、公園、プール等をいう。

⑨【都市型観光資源】

雫石町内の商業施設、地区・商店街、食・グルメ、その他都市型観光（買物・食等）等をいう。

⑩【その他観光資源】

他に分類されない観光地点のことをいう。また、道の駅やパーキングエリア等はここに含める。ただし、単なる休憩機能のみの施設は除くこととする。

⑪【定路線交通機関】

鉄道、定期バスなど、定期的に運行している交通機関をいう。

⑫【その他（交通機関）】

定路線交通機関、貸切バス、自家用車以外の交通機関のことをいう。例としては、レンタカー等がこれに含まれる。

(2) 社会的要因に関する用語

○主な用語

①【新型コロナウイルス(COVID-19)】

2019年12月に中国・武漢市で確認された原因不明の肺炎に端を発する、新型コロナウイルスによる感染症。変異株発生により感染爆発と沈静化を繰り返しながら、全世界で感染拡大。国内でも緊急事態宣言等の発出/解除が繰り返された。特に6月下旬からの第5波では、感染力が強いとされる変異株の拡大により感染者数が爆発的に増加。大都市圏を中心に病床がひっ迫し、入院できず自宅待機を余儀なくされるケースが頻発した。

一方、海外では昨年末から接種が開始されたワクチンだが、国内では2月の緊急承認を経て医療従事者への接種を開始、4月からは高齢者向けの接種が開始された。2回のワクチン接種を完了した人の割合は、令和4年1月6日時点で全人口に対して全国平均で78.4%。岩手県では82.6%となっている。ワクチン接種が進んだことで重症化や死亡に至るリスクは低減されつつあるが、次々に発見される変異株による第6波への懸念から、医療従事者、高齢者を対象に3回目のワクチン接種が12月以降開始されることとなった。

県内・町内に目を転じると、昨年末に町内の医療施設で発生したクラスターは2月末に収束。県内でも一旦状況は落ち着いたものの3月以降再び感染者が増加し、7月以降はさらに増え累計感染者数は2,000人を突破、8月12日に県独自の緊急事態宣言を発出するに至った(9月16日解除)。その後新規感染者数は減少に転じ、10月10日以降ほぼ新規感染者の確認がない状態が続いた。昨年12月末時点での岩手県の累計感染者数は、3,490人。

本年もお祭りやイベントの中止が相次ぎ、「Go to トラベル」も再開されないままとなった。感染状況が落ち着いた秋には宿泊など観光関連でも回復傾向が見られたが、本格的な回復には遠い状況が続いた。

②【東京オリンピック・パラリンピック】

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により2020年から1年開催が延期されたが、オリンピックは7月23日～8月8日、パラリンピックは8月24日～9月5日、緊急事態宣言下で開催された。一时有観客による開催も検討されたが、緊急事態宣言のためごく一部を除きオリンピック・パラリンピックとも無観客での開催となった。日本選手のメダルラッシュにより盛り上がりを見せたが、無観客となったことで海外からの観客もゼロとなり、来日に伴う観光消費も消滅する結果となって、期待された経済効果は得られなかった。

③【東北デスティネーションキャンペーン(東北DC)】

東日本大震災から10年となる節目に、東北6県を対象に4月1日～9月30日まで開催された観光キャンペーン。各地で関連イベントやスタンプラリーなどが企画されたが、度重なる緊急事態宣言の発出等により中止が相次いだ。その後、岩手経済研究所の試算では、県内への経済効果は約55億円で(東北全体ではおよそ185億円)、比較的感染状況が落ち着いていたこともあり、東北6県の中では最大となった。

④【いわて雪まつり】

平成29年に50回の節目を迎えた岩手の冬の一大イベント。平成30年の第51回から、岩手高原スノーパークをメイン会場とする複数会場での開催に変更。本年も開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い開催中止となった。

⑤【ONSEN ガストロノミーウォーキング in 鶯宿(おうしゆく)】

「その土地の食、自然、歴史・文化と共に温泉も楽しむ」というウォーキングイベントで、昨年、鶯宿温泉周辺を会場に第1回目を開催(岩手県内では初)。本年は一部コースを見直し、9月19日(日)に2回目を開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止に。

○補足用語

①【岩手県/雫石町の観光経済対策】

国による「GoTo トラベル」キャンペーンは、昨年末に休止されて以降再開には至らなかった。一方で県は近場旅を推進しようと、県民の県内旅行に対する補助として「いわて旅応援プロジェクト」を実施。緊急事態宣言発出により一時中断したが10月に再開、12月11日以降は、対象を青森、秋田、宮城の隣県3県の県民にも拡大した。本町では昨年に引き続き、町内の宿泊施設や観光施設、飲食店等で利用できる「雫石エンジョイパスポート」を県内限定で、また「雫石町3スキー場共通シーズン券/リフト券」を県内限定とせず販売。いずれも発売日当日に完売し、落ち込んだ町内の観光需要の活性化に一役を担った。

②【花巻空港/仙台空港国際定期便運休】

花巻空港へは台湾便と上海便が、仙台空港へはタイ便が定期運行されていたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う各国の渡航/入国の制限により利用がストップ。昨年2月以降これらの便が全便運休となった。その後、検疫や入国管理のため、成田、羽田など国内の主要空港に限定して一部国際線の運行を再開したが、地方空港ではいまだ運行再開には至っておらず、花巻空港の2路線については少なくとも令和4年3月26日までの運休が決定している。

4 入込調査ポイント（観光施設）一覧表 ※調査にご協力いただいていない施設も含まれています。

小岩井地区	小岩井農場	鶯宿地区	フラワー＆ガーデン森の風
	ヴィラ館々倶楽部		鶯宿集会所
	ペンション イーハトーブ花の郷		男助山登山
	ペンション カンタービレ		しずくいし YU-YU ファーム
	B&Bホテルアルカディア(休館中)		
長山・網張地区	いわて雪まつり	国見・橋場地区	石塚旅館
	岩手高原スノーパーク		森山荘
	休暇村岩手網張温泉 本館		道の駅「雫石あねっこ」
	休暇村岩手網張温泉 温泉館		小柳沢砂防公園オートキャンプ場
	網張温泉スキー場		国見山荘(休館)
	網張展望リフト	国見キャンプ場(休場)	
	網張温泉キャンプ場(追加)	滝ノ上地区	滝観荘
	網張ビジターセンター		滝峡荘(休館中)
	あみはりロッヂ		みやま荘(休館中)
	ペンション さんりんしゃ		滝ノ上キャンプ場(閉鎖)
	ペンション びつき		滝ノ上登山
	ペンション HAIJI(休館中)	玄武地区	玄武風柳亭
	プチホテル クロくまくん(休館中)		ロッヂたちばな
	ペンション ベルクレール		四季の里
	ペンション ドア		温泉ペンション くまさんち
	ペンション フィールドノート(廃業)		
	ペンション もみじ	西根地区	雫石プリンスホテル
	ペンション 山賊		雫石ゴルフ場
	B&B ロックイーグル(休館中)		雫石スキー場
	民宿 なかがわ		ペンション シャラ
民宿 杉清荘(休館中)	ペンション パオ		
民宿 坂井荘	ペンション ビアフィールド(休館中)		
民宿 長助	Soil		
コテージ クレソン	ロッジ しのむら(廃業)		
農家レストランらら	民宿 寿(休館中)		
松ぼっくり	民宿 大柳		
県営屋内温水プール	民宿 そで		
ゆこたんの森	民宿 しらかば		
ありね山荘	民宿 高見荘		
岩手山登山	民宿 雫石荘		
	民宿 大工		
鶯宿地区	長栄館	その他地区	上野旅館
	ホテル加賀助		佐々木旅館
	ホテル偕楽苑		しずく×CAN
	寿広園		ホテル 花の湯
	ホテル森の風鶯宿		御所湖広域公園(乗り物広場)
	ニュー鶯山荘		御所湖広域公園(ファミリーランド)
	ホテル鶯		御所湖広域公園(町場地区園地)
	清光荘		御所湖川村美術館
	川長		雫石銀河ステーション(売店・レストラン)
	鶯泉館		歴史民俗資料館
	かどや旅館		ケツパレランド
	石塚旅館		ウォータージャンプ
	鶯宿温泉の宿 赤い風車		雫石川(溪流釣り)
	温泉民宿 あげぼの荘		元祖しずくいし軽トラック市
	温泉民宿 とちない		雫石よしやれ祭
	温泉民宿 小枝		南部よしやれ全国大会
	温泉民宿 栄弥		しずくいし産業まつり
	温泉民宿 けむやま		コテージ村まつり
	温泉民宿 川久(休館中)		岩手山ろくファミリーマラソン
	八幡平カントリークラブ		御所湖 in しずくいし桜まつり

II. 本編

1 観光レクリエーション客の入込動向

(1) 概況

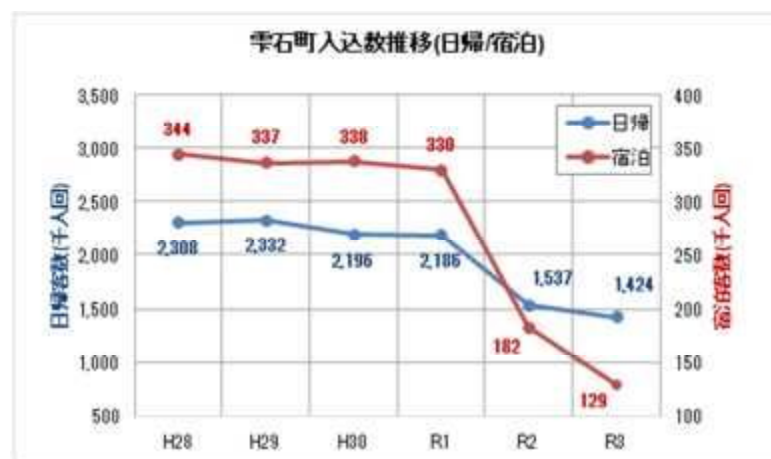
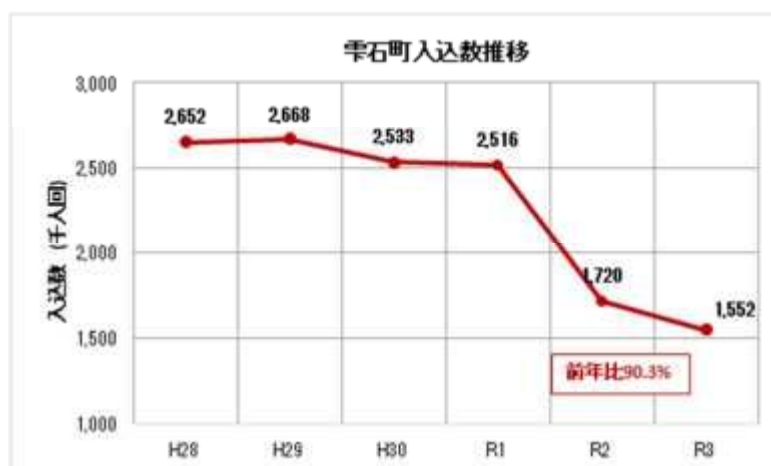
令和3年は、さらに新型コロナウイルスに影響された1年となった。

本年の観光レクリエーション客の入込数は **1,552,440人回**で、前年より167,162人回の減の90.3%で、コロナ前の令和元年との比較では963,892人回の減の61.7%と、入込の減少に歯止めがかかっていない。昨年第1四半期は新型コロナウイルスの影響を受ける前だったこともあり、本年同期の減少は著しく、コロナ前の半数ほどとなった。その後は新型コロナウイルスの感染拡大/沈静化の波に翻弄され、増加/減少を繰り返す結果となった。「GoTo トラベル」は昨年末に休止されたままとなったが、県民対象の「いわて旅応援プロジェクト」の開始で、県内客は第4四半期にはコロナ前と同程度にまで回復した。しかし、県外客が回復しないことで、昨年水準まで回復するには至らなかった。

日帰客数は、**1,423,879人回**で、前年比113,344人回減(92.6%)/R1年比762,599人回減(65.1%)。

宿泊客数は、**128,561人回**で、前年比53,818人回減(70.5%)/R1年比201,293人回減(39.0%)。

日帰客の減少は鈍化したが、宿泊客は昨年からさらに30%減少し厳しい状況となった。



	H28	H29	H30	R1	R2	R3
日帰	2,307,581	2,331,612	2,195,523	2,186,478	1,537,223	1,423,879
宿泊	344,061	336,663	337,763	329,854	182,379	128,561
総入込数	2,651,642	2,668,275	2,533,286	2,516,332	1,719,602	1,552,440

県の観光統計データから、岩手県および県内の主な市町の状況を見てみる。なお、本年のデータについては、現在公表されているのは1～9月までで、また特定の施設のみ集計対象のため、この報告書で述べる入込客数とは数値が異なる。

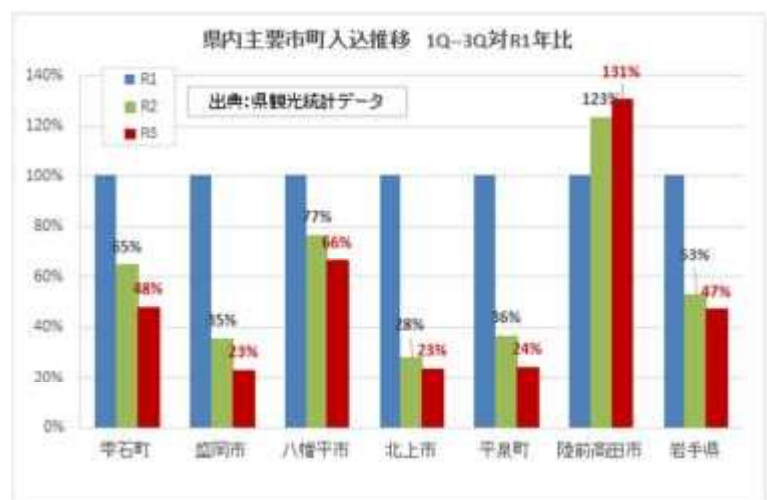
県全体の本年第3四半期までの入込客数は10,982,039人回で、去年同期から1,341,034人回減の89.1%、コロナ前のR1年同期比では12,409,925人回減の46.9%だった。本年第2四半期は、県民を対象とした「いわて旅応援プロジェクト」の開始により人の動きが活発になり、去年同期の1.5倍ほどに入込数が増加したが、第1四半期は首都圏などへの緊急事態宣言の、第3四半期は感染の第5波の影響で去年同期の60%、85%に留まったため、大きく入込が減少した昨年をさらに下回る結果となった。

	入込数（人回）			R2/R1年比		R3/R1年比	
	R1	R2	R3 1Q-3Q	（人回）	（人回）	（人回）	（人回）
雫石町	1,806,804	1,228,987	691,074	-577,817	68.0%	-1,115,730	38.2%
盛岡市	3,995,336	1,602,696	825,536	-2,392,640	40.1%	-3,169,800	20.7%
八幡平市	1,903,771	1,520,761	983,973	-383,010	79.9%	-919,798	51.7%
北上市	1,209,165	401,491	254,929	-807,674	33.2%	-954,236	21.1%
平泉町	2,064,542	902,638	362,682	-1,161,904	43.7%	-1,701,860	17.6%
陸前高田市	871,281	813,899	621,451	-57,382	93.4%	-249,830	71.3%
岩手県	29,213,467	16,879,246	10,982,039	-12,334,221	57.8%	-18,231,428	37.6%

	1-3Q入込数（人回）			R3/R2年比		R2/R1年比		R3/R1年比	
	R1	R2	R3	（人回）	（人回）	（人回）	（人回）	（人回）	（人回）
雫石町	1,443,571	935,798	691,074	-244,724	73.8%	-507,773	64.8%	-752,497	47.9%
盛岡市	3,579,906	1,264,405	825,536	-438,869	65.3%	-2,315,501	35.3%	-2,754,370	23.1%
八幡平市	1,480,682	1,134,300	983,973	-150,327	86.7%	-346,382	76.6%	-496,709	66.5%
北上市	1,086,104	300,787	254,929	-45,858	84.8%	-785,317	27.7%	-831,175	23.5%
平泉町	1,503,913	547,208	362,682	-184,526	66.3%	-956,705	36.4%	-1,141,231	24.1%
陸前高田市	475,358	586,511	621,451	34,940	106.0%	1,11,153	123.4%	146,093	130.7%
岩手県	23,391,964	12,323,073	10,982,039	-1,341,034	89.1%	-11,068,891	52.7%	-12,409,925	46.9%

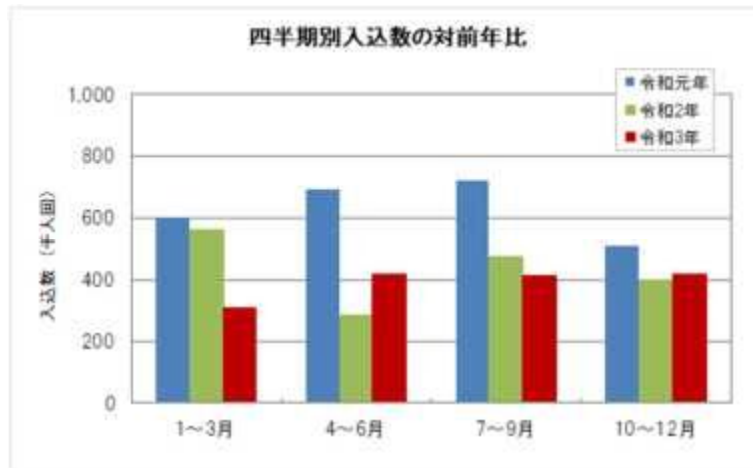
他市町の状況をそれぞれ第3四半期までのデータで比較すると、今回取り上げたすべての市町で本年第2四半期には「いわて旅応援プロジェクト」の効果で昨年の1.5～2倍に増加したものの、依然減少が続いている。特に盛岡市と平泉町は、昨年の65%、R1年の24%ほどと、大きく落ち込んだままとされている。北上市も展勝地桜まつり中止の影響か、昨年比では85%ほどだがR1年比では未だ23.5%に留まっている。八幡平市も減少が続いてはいるものの、他市町と比べると減少幅は小さく押さえられているようである。

一方で陸前高田市は、R1年9月の道の駅高田松原を含む高田松原津波復興祈念公園やワタミオーガニックファームのオープンによるものか、1年を通して見ても昨年ですらコロナ前の約93%と大きな影響とはなっておらず、さらに震災教育の需要とも相まって、同期比では昨年の106.0%、R1年の130.7%とコロナ下にあっても入込客数は増加した。



(2) 詳細

①四半期別



	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	計
令和元年	602,574	689,232	719,570	504,956	2,516,332
令和2年	563,005	283,742	474,907	397,948	1,719,602
令和3年	308,368	415,082	411,845	417,145	1,552,440
前年比	54.8%	146.3%	86.7%	104.8%	90.3%
R1年比	51.2%	60.2%	57.2%	82.6%	61.7%

○1~3月入込数：308,368人回（前年比54.8%/R1年比51.2%）（単位：人回）

	1月	2月	3月	1~3月計
令和元年	186,423	269,703	146,448	602,574
令和2年	187,941	247,007	128,057	563,005
令和3年	97,897	99,765	110,706	308,368
前年比	52.1%	40.4%	86.5%	54.8%
前年差	-90,044	-147,242	-17,351	-254,637
R1年比	52.5%	37.0%	75.6%	51.2%
R1年差	-88,526	-169,938	-35,742	-294,206

第1四半期は、首都圏など大都市圏での緊急事態宣言と、昨年未発生した町内でのクラスターの風評により、県外客を中心に入込数が減少。昨年同期は新型コロナウイルスの本格的な影響が出始める前だったこともあり、減少幅が大きくなった。また、雪まつりの中止も入込減に影響を及ぼした。

○4~6月入込数：415,082人回（前年比146.3%/R1年比60.2%）（単位：人回）

	4月	5月	6月	4~6月計
令和元年	193,714	306,429	189,089	689,232
令和2年	65,089	86,979	131,674	283,742
令和3年	122,217	160,605	132,260	415,082
前年比	187.8%	184.6%	100.4%	146.3%
前年差	57,128	73,626	586	131,340
R1年比	63.1%	52.4%	69.9%	60.2%
R1年差	-71,497	-145,824	-56,829	-274,150

昨年の同時期は感染拡大の第1波で人の流れが大幅に減少したが、本年は4月、県民対象の「いわて旅応援プロジェクト」の開始で県内客を中心に昨年より入込は増えたものの、その後の感染再拡大により頭打ちとなり、コロナ前との比較では6割ほどに留まった。

〇7～9 月入込数：411,845 人回（前年比 86.7%/R1 年比 57.2%）（単位：人回）

	7月	8月	9月	7～9月計
令和元年	205,444	295,298	218,828	719,570
令和2年	134,219	159,933	180,755	474,907
令和3年	150,431	129,624	131,790	411,845
前年比	112.1%	81.0%	72.9%	86.7%
前年差	16,212	-30,309	-48,965	-63,062
R1年比	73.2%	43.9%	60.2%	57.2%
R1年差	-55,013	-165,674	-87,038	-307,725

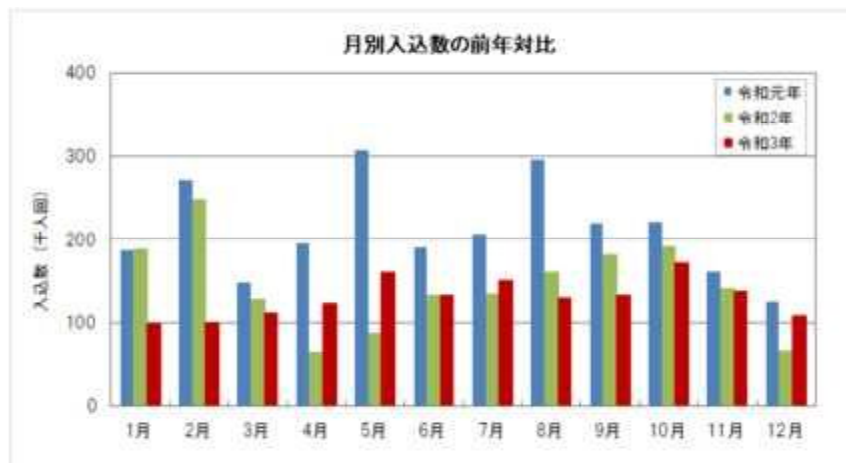
7月以降感染の第5波により、全国で緊急事態宣言や重点措置が再度発出され、外出自粛の意識が強まった。8月には県内でも独自の緊急事態宣言が出され、臨時休業や「いわて旅応援プロジェクト」の終了などの影響もあり、やや持ち直しつつあった入込が再び減少に転じた。

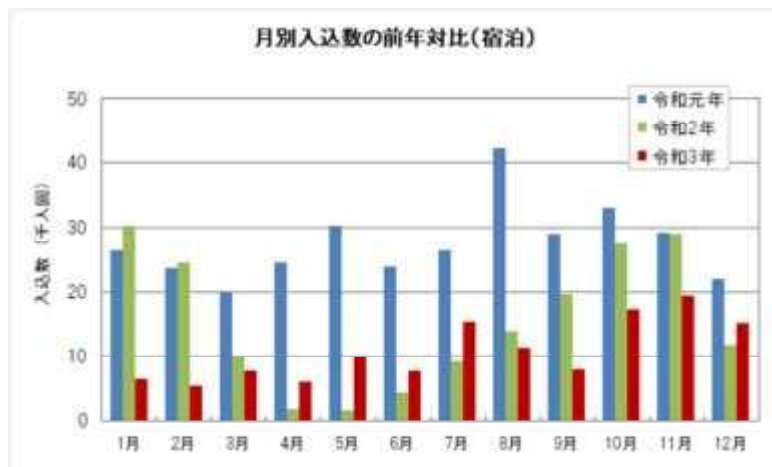
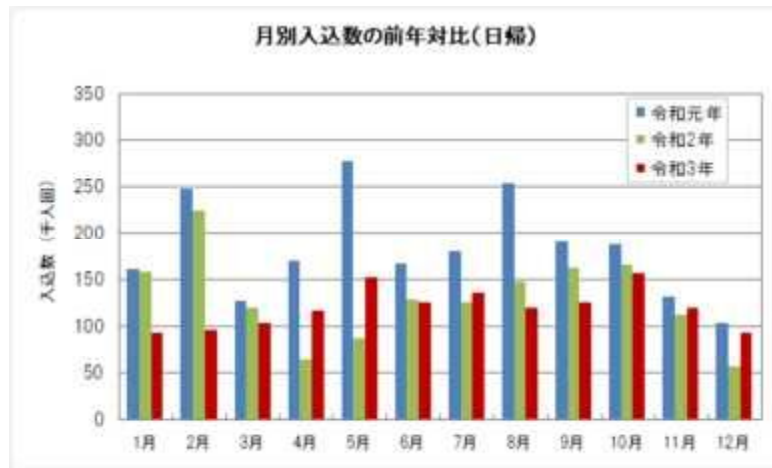
〇10～12 月入込数：417,145 人回（前年比 104.8%/R1 年比 82.6%）（単位：人回）

	10月	11月	12月	10～12月計
令和元年	219,787	160,192	124,977	504,956
令和2年	191,492	139,895	66,561	397,948
令和3年	172,099	137,611	107,435	417,145
前年比	89.9%	98.4%	161.4%	104.8%
前年差	-19,393	-2,284	40,874	19,197
R1年比	78.3%	85.9%	86.0%	82.6%
R1年差	-47,688	-22,581	-17,542	-87,811

感染拡大が小康状態となり、10月からの「いわて旅応援プロジェクト」第2弾、「雫石町エンジョイパスポート」が後押しとなって、県内客数はコロナ前と同程度にまで回復した一方で、県外客は「GoTo トラベル」が停止されたままだったことも影響してか、6割程度に留まり、伸び悩んだ。

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
日帰	令和元年	160,124	246,090	126,649	169,130	276,159	165,189	179,142	253,199	189,803	186,858	131,043	103,092	2,186,478
	令和2年	157,599	222,626	118,220	63,467	85,633	127,543	125,164	146,051	161,167	164,019	110,877	54,857	1,537,223
	令和3年	91,596	94,395	103,083	116,211	150,755	124,708	135,199	118,348	124,019	154,853	118,300	92,412	1,423,879
	前年比	58.1%	42.4%	87.2%	183.1%	176.0%	97.8%	108.0%	81.0%	77.0%	94.4%	106.7%	168.5%	92.6%
	前年差	-66,003	-128,231	-15,137	52,744	65,122	-2,835	10,035	-27,703	-37,148	-9,166	7,423	37,555	-113,344
	R1年比	57.2%	38.4%	81.4%	68.7%	54.6%	75.5%	75.5%	46.7%	65.3%	82.9%	90.3%	89.6%	65.1%
	R1年差	-68,528	-151,695	-23,566	-52,919	-125,404	-40,481	-43,943	-134,851	-65,784	-32,005	-12,743	-10,680	-762,599
宿泊	令和元年	26,299	23,613	19,799	24,584	30,270	23,900	26,302	42,099	29,025	32,929	29,149	21,885	329,854
	令和2年	30,342	24,381	9,837	1,622	1,346	4,131	9,055	13,882	19,588	27,473	29,018	11,704	182,379
	令和3年	6,301	5,370	7,623	6,006	9,850	7,552	15,232	11,276	7,771	17,246	19,311	15,023	128,561
	前年比	20.8%	22.0%	77.5%	370.3%	731.8%	182.8%	168.2%	81.2%	39.7%	62.8%	66.5%	128.4%	70.5%
	前年差	-24,041	-19,011	-2,214	4,384	8,504	3,421	6,177	-2,606	-11,817	-10,227	-9,707	3,319	-53,818
	R1年比	24.0%	22.7%	38.5%	24.4%	32.5%	31.6%	57.9%	26.8%	26.8%	52.4%	66.2%	68.6%	39.0%
	R1年差	-19,998	-18,243	-12,176	-18,578	-20,420	-16,348	-11,070	-30,823	-21,254	-15,683	-9,838	-6,862	-201,293



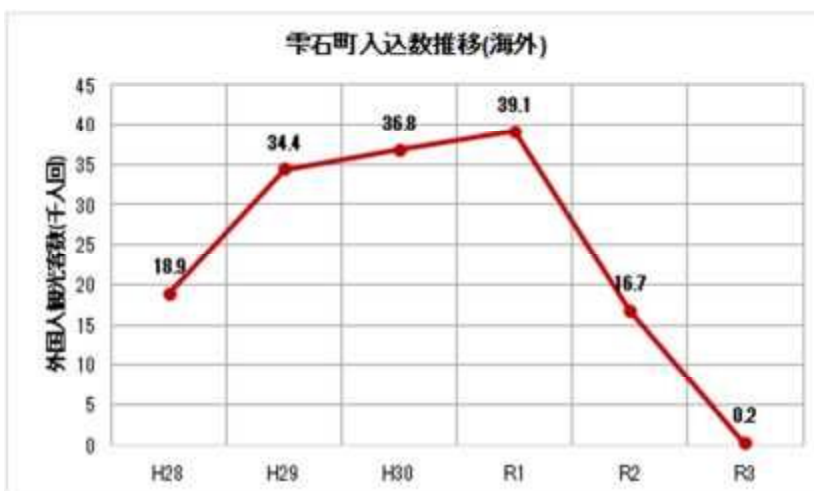


②発地別

県外客の入込数には外国人旅行者の人数も含まれているため、外国人を分けて比較を行った。昨年から続く海外からの渡航/入国制限のため、外国人旅行者はほぼ皆無に。一方国内では、主に県内在住者を対象にした「いわて旅応援プロジェクト」の効果もあり県内客数は回復傾向にあるものの、県外客は「GoToトラベル」停止の影響もあってか、依然低迷したままととなった。

発地別では、県内客が12,622人回減の1,160,334人回で前年比98.9%、県外客は138,062人回減の391,885人回(前年比73.9%)だったが、コロナ前のR1年との比較では県内客が73.0%、県外客は44.1%と、特に県外客はコロナ前の半数にも回復していない。一方、外国人旅行者は16,478人回減の221人回(前年比1.3%)、コロナ前との比較では38,870人回減の0.6%と、観光客の入国がストップしたままの状況でほぼゼロとなった。

	H29		H30		R1		R2		R3		
	前年比		前年比		前年比		前年比		前年比	R1年比	
県内	1,732,570	101.7%	1,604,960	92.6%	1,589,390	99.0%	1,172,956	73.8%	1,160,334	98.9%	73.0%
県外	901,317	97.0%	891,511	98.9%	887,851	99.6%	529,947	59.7%	391,885	73.9%	44.1%
海外	34,388	182.1%	36,815	107.1%	39,091	106.2%	16,699	42.7%	221	1.3%	0.6%



2 観光地年別入込推移

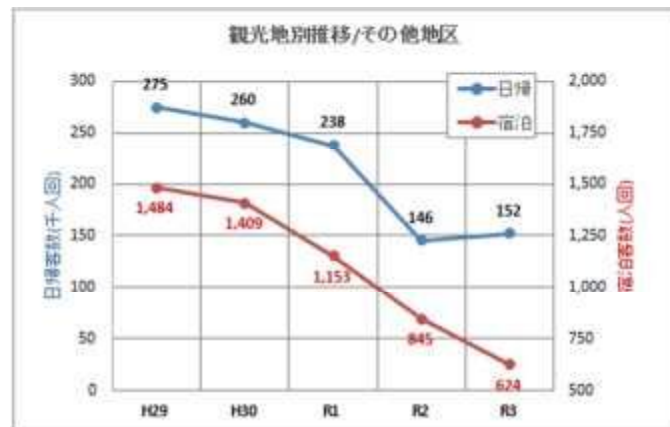
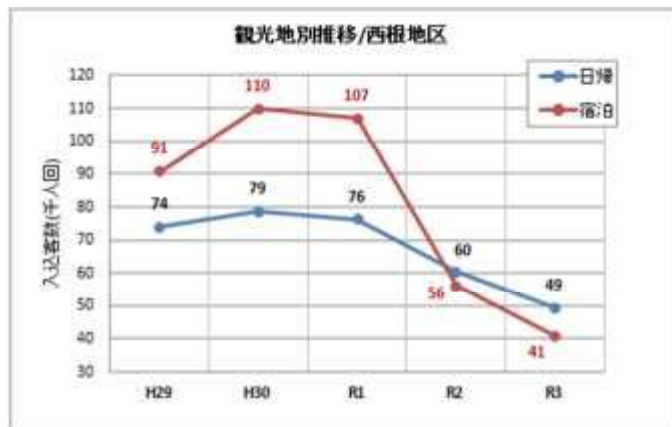
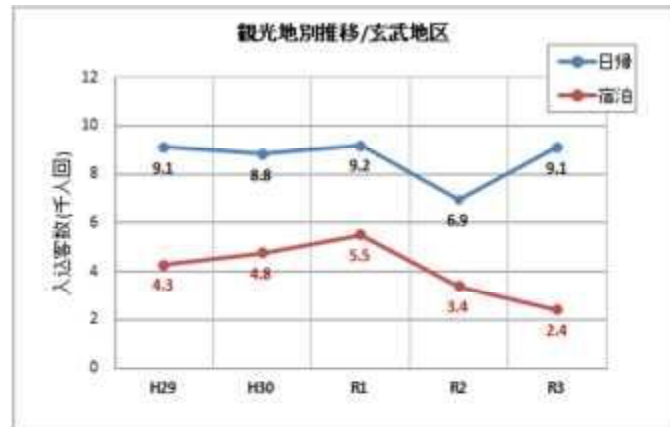
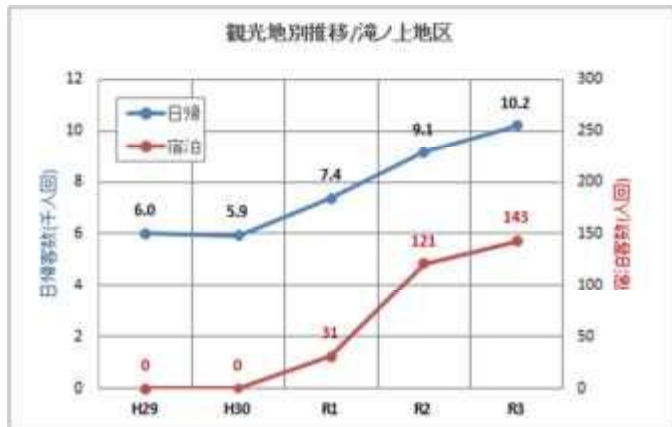
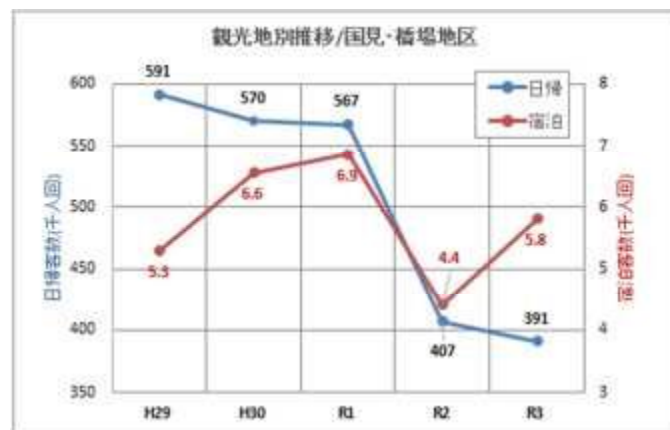
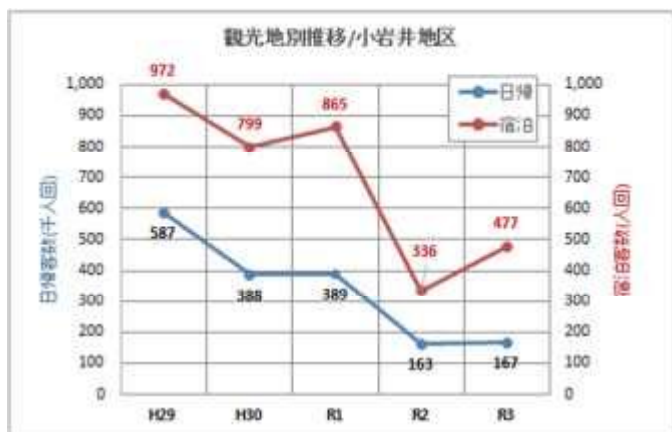
①日帰/宿泊別

本年は一部の地区で昨年より入込は増加したが、コロナ前の入込数にまでは回復していない。「いわて旅応援プロジェクト」により県内客は昨年並みにまで回復した一方で、新型コロナウイルスの第5波、「GoTo トラベル」の停止により県外客の回復が遅れ、全体としては昨年以上に厳しい結果となった。

小岩井地区は前年比4,638人回増の102.8%と微増したものの、コロナ前より222,149人回少なく43.0%に留まっている。長山・網張地区は日帰/宿泊とも昨年の9割ほどとなったが、96,261人回減の86.2%(R1年比258,006人回減/70.0%)。鶯宿地区は、宿泊客の減少が止まらず43,508人回減の73.7%(同126,925人回減/49.0%)となった。国見・橋場地区はキャンプ場利用が好調だったものの、14,602人回減の96.5%(同177,539人回減/69.1%)。西根地区も26,071人回減の77.6%(同92,858人回減/49.3%)で、コロナ前の半数ほどとなっている。その他地区はイベント中止の影響があったものの日帰客が増えたことで、6,398人回増の104.4%と昨年より増加したが、R1年比では86,176人回減の63.9%で回復には至っていない。

地区によっては昨年並みに戻った地区もあるが、滝ノ上地区を除いてコロナ前の入込には届かない状況が続いている。影響が長引く宿泊客、特に昨年以降他の地区と比べても減少が著しい鶯宿地区の宿泊については、速やかに原因調査と対策が必要と考える。

観光地別	年度	H29		H30		R1		R2		R3	
		人回	対前年比	人回	対前年比	人回	対前年比	人回	対前年比	人回	対前年比
			%		%		%		%		%
小岩井地区	日帰	587,125	106.8	387,887	66.1	389,090	100.3	162,832	41.8	167,329	102.8
	宿泊	972	113.3	799	82.2	865	108.3	336	38.8	477	142.0
	計	588,097	106.9	388,686	66.1	389,955	100.3	163,168	41.8	167,806	102.8
長山・網張地区	日帰	675,107	97.9	770,965	114.2	788,350	102.3	653,672	82.9	561,305	85.9
	宿泊	67,931	94.6	70,225	103.4	70,286	100.1	43,219	61.5	39,325	91.0
	計	743,038	97.6	841,190	113.2	858,636	102.1	696,891	81.2	600,630	86.2
鶯宿地区	日帰	114,026	99.1	112,990	99.1	110,910	98.2	91,643	82.6	83,492	91.1
	宿泊	165,946	90.3	144,146	86.9	138,153	95.8	74,003	53.6	38,646	52.2
	計	279,972	93.7	257,136	91.8	249,063	96.9	165,646	66.5	122,138	73.7
国見・橋場地区	日帰	591,442	95.8	570,269	96.4	567,453	99.5	406,962	71.7	390,961	96.1
	宿泊	5,287	80.9	6,559	124.1	6,855	104.5	4,409	64.3	5,808	131.7
	計	596,729	95.6	576,828	96.7	574,308	99.6	411,371	71.6	396,769	96.5
滝ノ上地区	日帰	5,996	79.0	5,938	99.0	7,370	124.1	9,159	124.3	10,209	111.5
	宿泊	0	0.0	0	0.0	31	0.0	121	390.3	143	118.2
	計	5,996	78.7	5,938	99.0	7,401	124.6	9,280	125.4	10,352	111.6
玄武地区	日帰	9,112	109.2	8,821	96.8	9,187	104.1	6,940	75.5	9,101	131.1
	宿泊	4,286	76.2	4,768	111.2	5,512	115.6	3,397	61.6	2,408	70.9
	計	13,398	95.9	13,589	101.4	14,699	108.2	10,337	70.3	11,509	111.3
西根地区	日帰	73,983	143.7	78,533	106.2	76,299	97.2	60,462	79.2	49,310	81.6
	宿泊	90,757	123.0	109,857	121.0	106,999	97.4	56,049	52.4	41,130	73.4
	計	164,740	131.5	188,390	114.4	183,298	97.3	116,511	63.6	90,440	77.6
その他地区	日帰	274,821	102.3	260,120	94.7	237,819	91.4	145,553	61.2	152,172	104.5
	宿泊	1,484	86.8	1,409	94.9	1,153	81.8	845	73.3	624	73.8
	計	276,305	102.2	261,529	94.7	238,972	91.4	146,398	61.3	152,796	104.4
合計	日帰	2,331,612	101.0	2,195,523	94.2	2,186,478	99.6	1,537,223	70.3	1,423,879	92.6
	宿泊	336,663	97.8	337,763	100.3	329,854	97.7	182,379	55.3	128,561	70.5
	計	2,668,275	100.6	2,533,286	94.9	2,516,332	99.3	1,719,602	68.3	1,552,440	90.3



②発地別

地区毎の発地別状況については以下の通り。

小岩井地区では、県内客は前年比 75,870 人回増の 206.3%と倍増し、コロナ前の R1 年と同程度にまで回復したものの、県外客は前年比 68,508 人回減の 23.1%と R1 年の 9%まで落ち込み減少が続いている。一方長山・網張地区は、県内/県外共十分な回復には至らず、県内客は前年比 87.1%/R1 年比 72.5%、県外客は同 84.6%/65.0%だった。

また鶯宿地区では、県内客県外客共に減少が続いており、特に県外からは宿泊客を中心に他の地区と比べても減少が著しい。県内客は前年比 22,850 人回減の 81.5%(R1 年比 49,941 人回減/66.8%)だったが、県外客は 19,186 人回減の 53.0%とさらに半減、R1 年の 1/4 ほどと厳しい結果となった。

国見・橋場地区は、県内客、県外客とも昨年よりわずかに減少。県内客は 10,755 人回減の 277,810 人回(前年比 96.3%)、県外客は 3,849 人回減の 118,957 人回(同 96.9%)だったが、R1 年比では 7 割程度と回復には至っていない。

滝ノ上地区は紅葉シーズンの登山者増が大きく、前年比 1,072 人回増の 10,352 人回(前年比 125.4%)で、コロナ前と比べても 140%ほどに増加した。

玄武地区は、コロナ前には届かないものの県内客・県外客共に昨年より増加。県内客は 685 人回増の前年比 108.5%(R1 年比 90.9%)、県外客は 499 人回増の前年比 121.9%(同 55.2%)となった。

西根地区では、県外客が 11,510 人回減の 33,488 人回で前年比 74.4%(R1 年比 39.9%)にさらに減少。県内客も 3,403 人回減の 56,895 人回(前年比 94.4%、R1 年比 70.5%)で、県外客ほどではないものの減少が続いている。

その他地区では、屋外施設で昨年より増加が見られたものの、屋内施設では減少が止まらず、また行祭事の中止が大きく影響した。県内客は前年比 10,258 人回増の 108.0%だったがコロナ前の 66.8%、県外客は 3,817 人回減で前年の 79.8%、コロナ前の 46.1%に留まっている。

観光地別	年度	R1	R2	R3	前年比	R1年比
小岩井地区	県内	150,516	71,365	147,235	206.3%	97.8%
	県外	229,671	89,066	20,558	23.1%	9.0%
	海外	9,768	2,737	13	0.5%	0.1%
	計	389,955	163,168	167,806	102.8%	43.0%
長山・網張地区	県内	584,626	486,534	423,563	87.1%	72.5%
	県外	272,192	209,251	176,944	84.6%	65.0%
	海外	1,818	1,106	123	11.1%	6.8%
	計	858,636	696,891	600,630	86.2%	70.0%
鶯宿地区	県内	150,323	123,232	100,543	81.6%	66.9%
	県外	90,195	40,848	21,589	52.9%	23.9%
	海外	8,545	1,566	6	0.4%	0.1%
	計	249,063	165,646	122,138	73.7%	49.0%
国見・橋場地区	県内	401,866	288,565	277,810	96.3%	69.1%
	県外	172,440	122,806	118,957	96.9%	69.0%
	海外	2	0	2	-	100.0%
	計	574,308	411,371	396,769	96.5%	69.1%
滝ノ上地区	県内	5,656	7,437	7,820	105.1%	138.3%
	県外	1,745	1,843	2,532	137.4%	145.1%
	海外	0	0	0	-	-
	計	7,401	9,280	10,352	125.4%	139.9%
玄武地区	県内	9,607	8,045	8,730	108.5%	90.9%
	県外	5,037	2,280	2,779	121.9%	55.2%
	海外	55	12	0	0.0%	0.0%
	計	14,699	10,337	11,509	111.3%	78.3%
西根地区	県内	80,691	60,298	56,895	94.4%	70.5%
	県外	83,932	44,998	33,488	74.4%	39.9%
	海外	18,675	11,215	57	0.5%	0.3%
	計	183,298	116,511	90,440	77.6%	49.3%
その他地区	県内	206,105	127,480	137,738	108.0%	66.8%
	県外	32,639	18,855	15,038	79.8%	46.1%
	海外	228	63	20	31.7%	8.8%
	計	238,972	146,398	152,796	104.4%	63.9%
合計	県内	1,589,390	1,172,956	1,160,334	98.9%	73.0%
	県外	887,851	529,947	391,885	73.9%	44.1%
	海外	39,091	16,699	221	1.3%	0.6%
	計	2,516,332	1,719,602	1,552,440	90.3%	61.7%

3 観光地別月別入込状況

町内全体の月毎の推移をみると、「いわて旅応援プロジェクト」が開始されたものの自粛ムードが強かった4～5月と、変異株による第5波が襲った8～10月にかけて、臨時休館等の影響もあり入込が減少した。例年入込が多い5月、8月の県外客数がコロナ前の6割ほどに留まっており、このことが影響したとみられる。10月以降は感染拡大が沈静化し、「いわて旅応援プロジェクト」が再開されてからは昨年並みまでの回復が見られたが、コロナ前の状況までには回復途上である。

地区別に見ていくと、まず小岩井地区では県内客がコロナ前と同程度まで回復した一方で、県外客は昨年よりさらに減少。地区全体では日帰客数は4,497人回増の前年比102.8%となったが、コロナ前との比較では221,761人回減の43.0%と回復には至っていない。

長山・網張地区は雪まつり中止の影響もあり、県内外とも日帰客は前年を割り込んだが、新緑・紅葉の時期に入込が増えたことで、減少は比較的少なく抑えられた。一方宿泊客は、1月、2月の落ち込みは激しかったが、県内客は昨年から微増、県外客も他地区ほど減少は大きくなかったことで、前年比3,894人回減の91.0%、コロナ前の30,961人回減/55.9%だった。

鶯宿地区は、地区内で発生したクラスターの風評の影響か、1月、2月はコロナ前の2割程度まで落ち込んだ。一旦回復傾向にあったものの、第5波に襲われた夏場以降特に宿泊客数が大幅に減少。通年では日帰客数は前年比の約9割(R1年比75%)となった。一方、宿泊客数は県外客が戻らなかったことで、前年比52.3%(同28.0%)と大幅な減少が続いた。

国見・橋場地区は、日帰りで16,001人回減の390,961人回(前年比96.1%)。宿泊は道の駅キャンプ場の利用増で前年より1,399人回増え5,808人回(同131.7%)だったが、R1年比ではそれぞれ176,492人回減の68.9%、1,047人回減の84.7%だった。

玄武地区では、年初、感染拡大の影響を受けたが、第5波が襲った夏以降も日帰客が伸びたことで宿泊客の減少をカバーした。日帰客は前年の131.1%(R1年比99.1%)、宿泊客は70.9%(同43.7%)。

西根地区も1月、2月は前年の半数程度に減少。その後4月以降は持ち直してきたが、第5波に見舞われた9月には宿泊客数が前年の3割ほどに減少し、最終的に日帰りは前年の81.6%(R1年比64.6%)、宿泊は73.4%(同38.4%)と、特に宿泊は依然厳しい状況にある。

その他地区は4～7月県内の日帰客が増えたが、行祭事の中止や第5波で臨時休業した施設が多かった影響で、13,420人回減の90.8%、コロナ前の105,994人回減/55.6%となった。

観光地別		R3 合計		
		県内	県外	合計
小岩井地区	日帰	147,102	20,227	167,329
	宿泊	133	344	477
	計	147,235	20,571	167,806
長山・網張地区	日帰	398,790	162,515	561,305
	宿泊	24,773	14,552	39,325
	計	423,563	177,067	600,630
鶯宿地区	日帰	76,816	6,676	83,492
	宿泊	23,727	14,919	38,646
	計	100,543	21,595	122,138
国見・橋場地区	日帰	274,422	116,539	390,961
	宿泊	3,388	2,420	5,808
	計	277,810	118,959	396,769
滝ノ上地区	日帰	7,762	2,447	10,209
	宿泊	58	85	143
	計	7,820	2,532	10,352
玄武地区	日帰	7,342	1,759	9,101
	宿泊	1,388	1,020	2,408
	計	8,730	2,779	11,509
西根地区	日帰	42,527	6,783	49,310
	宿泊	14,368	26,762	41,130
	計	56,895	33,545	90,440
その他地区	日帰	137,320	14,852	152,172
	宿泊	418	206	624
	計	137,738	15,058	152,796
合計	日帰	1,092,081	331,798	1,423,879
	宿泊	68,253	60,308	128,561
	計	1,160,334	392,106	1,552,440

観光地別		1月			2月			3月			4月		
		県内	県外	合計	県内	県外	合計	県内	県外	合計	県内	県外	合計
小岩井地区	日帰	354	89	443	2,293	1,877	4,170	3,137	2,566	5,703	8,105	900	9,005
	宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	16	18
	計	354	89	443	2,293	1,877	4,170	3,137	2,566	5,703	8,107	916	9,023
長山・網張地区	日帰	48,714	8,322	57,036	42,514	10,311	52,825	42,797	16,320	59,117	36,016	18,948	54,964
	宿泊	1,482	1,019	2,501	937	710	1,647	1,806	1,191	2,997	1,070	659	1,729
	計	50,196	9,341	59,537	43,451	11,021	54,472	44,603	17,511	62,114	37,086	19,607	56,693
鶯宿地区	日帰	3,930	180	4,110	4,169	106	4,275	4,237	119	4,356	6,490	515	7,005
	宿泊	1,224	527	1,751	1,217	607	1,824	1,594	883	2,477	1,332	1,203	2,535
	計	5,154	707	5,861	5,386	713	6,099	5,831	1,002	6,833	7,822	1,718	9,540
国見・橋場地区	日帰	10,432	4,471	14,903	14,145	6,062	20,207	18,649	7,992	26,641	22,249	9,535	31,784
	宿泊			0			0			0	68	29	97
	計	10,432	4,471	14,903	14,145	6,062	20,207	18,649	7,992	26,641	22,317	9,564	31,881
滝ノ上地区	日帰			0			0			0			0
	宿泊			0			0			0			0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玄武地区	日帰	845	95	940	493	56	549	351	32	383	462	89	551
	宿泊	78	71	149	8	20	28	5	24	29	39	36	75
	計	923	166	1,089	501	76	577	356	56	412	501	125	626
西根地区	日帰	9,900	1,800	11,700	8,768	1,002	9,770	3,710	645	4,355	1,172	122	1,294
	宿泊	566	1,289	1,855	616	1,208	1,824	747	1,308	2,055	444	1,051	1,495
	計	10,466	3,089	13,555	9,384	2,210	11,594	4,457	1,953	6,410	1,616	1,173	2,789
その他地区	日帰	1,766	698	2,464	1,859	740	2,599	1,772	756	2,528	10,606	1,002	11,608
	宿泊	30	15	45	31	16	47	44	21	65	38	19	57
	計	1,796	713	2,509	1,890	756	2,646	1,816	777	2,593	10,644	1,021	11,665
合計	日帰	75,941	15,655	91,596	74,241	20,154	94,395	74,653	28,430	103,083	85,100	31,111	116,211
	宿泊	3,380	2,921	6,301	2,809	2,561	5,370	4,196	3,427	7,623	2,993	3,013	6,006
	計	79,321	18,576	97,897	77,050	22,715	99,765	78,849	31,857	110,706	88,093	34,124	122,217

観光地別		5月			6月			7月			8月		
		県内	県外	合計	県内	県外	合計	県内	県外	合計	県内	県外	合計
小岩井地区	日帰	14,652	1,627	16,279	11,050	1,227	12,277	15,452	1,716	17,168	16,546	1,838	18,384
	宿泊	11	52	63	8	28	36	19	23	42	18	81	99
	計	14,663	1,679	16,342	11,058	1,255	12,313	15,471	1,739	17,210	16,564	1,919	18,483
長山・網張地区	日帰	38,947	19,765	58,712	28,931	14,356	43,287	33,356	13,758	47,114	27,465	13,326	40,791
	宿泊	2,090	869	2,959	1,493	804	2,297	3,967	1,713	5,680	1,941	1,317	3,258
	計	41,037	20,634	61,671	30,424	15,160	45,584	37,323	15,471	52,794	29,406	14,643	44,049
鶯宿地区	日帰	7,502	716	8,218	6,472	346	6,818	7,667	711	8,378	6,830	354	7,184
	宿泊	2,395	980	3,375	1,407	775	2,182	2,708	1,001	3,709	1,284	1,002	2,286
	計	9,897	1,696	11,593	7,879	1,121	9,000	10,375	1,712	12,087	8,114	1,356	9,470
国見・橋場地区	日帰	24,073	10,232	34,305	23,569	9,913	33,482	28,488	12,040	40,528	27,000	11,312	38,312
	宿泊	391	183	574	374	319	693	610	469	1,079	791	559	1,350
	計	24,464	10,415	34,879	23,943	10,232	34,175	29,098	12,509	41,607	27,791	11,871	39,662
滝ノ上地区	日帰	359	53	412	912	284	1,196	600	174	774	702	182	884
	宿泊	3	0	3	6	9	15	14	12	26	1	7	8
	計	362	53	415	918	293	1,211	614	186	800	703	189	892
玄武地区	日帰	699	247	946	559	124	683	580	77	657	627	177	804
	宿泊	119	122	241	34	29	63	218	91	309	222	115	337
	計	818	369	1,187	593	153	746	798	168	966	849	292	1,141
西根地区	日帰	2,365	315	2,680	2,366	283	2,649	2,222	477	2,699	1,853	310	2,163
	宿泊	1,528	1,034	2,562	1,228	992	2,220	1,963	2,368	4,331	1,280	2,609	3,889
	計	3,893	1,349	5,242	3,594	1,275	4,869	4,185	2,845	7,030	3,133	2,919	6,052
その他地区	日帰	27,378	1,825	29,203	22,604	1,712	24,316	15,952	1,929	17,881	8,741	1,085	9,826
	宿泊	49	24	73	31	15	46	38	18	56	33	16	49
	計	27,427	1,849	29,276	22,635	1,727	24,362	15,990	1,947	17,937	8,774	1,101	9,875
合計	日帰	115,975	34,780	150,755	96,463	28,245	124,708	104,317	30,882	135,199	89,764	28,584	118,348
	宿泊	6,586	3,264	9,850	4,581	2,971	7,552	9,537	5,695	15,232	5,570	5,706	11,276
	計	122,561	38,044	160,605	101,044	31,216	132,260	113,854	36,577	150,431	95,334	34,290	129,624

観光地別	月別	9月			10月			11月			12月		
		県内	県外	合計	県内	県外	合計	県内	県外	合計	県内	県外	合計
小岩井地区	日帰	12,600	1,399	13,999	20,075	2,230	22,305	15,776	1,752	17,528	27,062	3,006	30,068
	宿泊	14	45	59	31	60	91	20	27	47	10	12	22
	計	12,614	1,444	14,058	20,106	2,290	22,396	15,796	1,779	17,575	27,072	3,018	30,090
長山・網張地区	日帰	28,941	14,404	43,345	28,946	14,912	43,858	22,714	11,133	33,847	19,449	6,960	26,409
	宿泊	1,247	1,332	2,579	2,445	2,409	4,854	3,205	1,294	4,499	3,090	1,235	4,325
	計	30,188	15,736	45,924	31,391	17,321	48,712	25,919	12,427	38,346	22,539	8,195	30,734
鶯宿地区	日帰	7,640	489	8,129	8,499	1,741	10,240	7,534	657	8,191	5,846	742	6,588
	宿泊	884	913	1,797	2,172	2,973	5,145	3,292	2,274	5,566	4,218	1,781	5,999
	計	8,524	1,402	9,926	10,671	4,714	15,385	10,826	2,931	13,757	10,064	2,523	12,587
国見・橋場地区	日帰	26,850	11,454	38,304	36,913	15,534	52,447	26,121	11,167	37,288	15,933	6,827	22,760
	宿泊	609	395	1,004	455	410	865	90	56	146			0
	計	27,459	11,849	39,308	37,368	15,944	53,312	26,211	11,223	37,434	15,933	6,827	22,760
滝ノ上地区	日帰	3,445	1,322	4,767	1,498	400	1,898	246	32	278			0
	宿泊	10	32	42	23	25	48	1	0	1			0
	計	3,455	1,354	4,809	1,521	425	1,946	247	32	279	0	0	0
玄武地区	日帰	714	236	950	703	239	942	682	232	914	627	155	782
	宿泊	49	40	89	146	114	260	218	150	368	252	208	460
	計	763	276	1,039	849	353	1,202	900	382	1,282	879	363	1,242
西根地区	日帰	2,300	393	2,693	2,550	516	3,066	1,821	320	2,141	3,500	600	4,100
	宿泊	464	1,675	2,139	1,504	4,355	5,859	2,041	6,643	8,684	1,987	2,230	4,217
	計	2,764	2,068	4,832	4,054	4,871	8,925	3,862	6,963	10,825	5,487	2,830	8,317
その他地区	日帰	10,397	1,435	11,832	18,245	1,852	20,097	16,796	1,317	18,113	1,204	501	1,705
	宿泊	41	21	62	83	41	124	0	0	0	0	0	0
	計	10,438	1,456	11,894	18,328	1,893	20,221	16,796	1,317	18,113	1,204	501	1,705
合計	日帰	92,887	31,132	124,019	117,429	37,424	154,853	91,690	26,610	118,300	73,621	18,791	92,412
	宿泊	3,318	4,453	7,771	6,859	10,387	17,246	8,867	10,444	19,311	9,557	5,466	15,023
	計	96,205	35,585	131,790	124,288	47,811	172,099	100,557	37,054	137,611	83,178	24,257	107,435

※国見地区(宿泊)及び滝ノ上地区は12月～4月まで冬季道路閉鎖により入込み無し

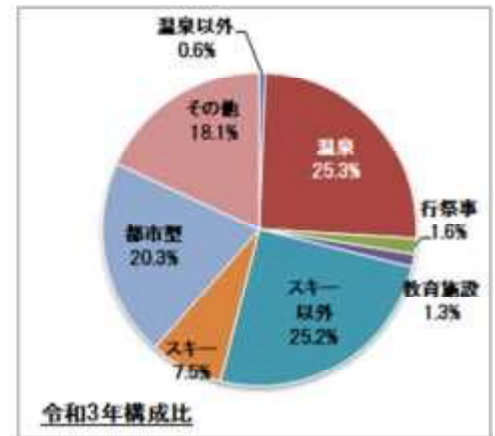
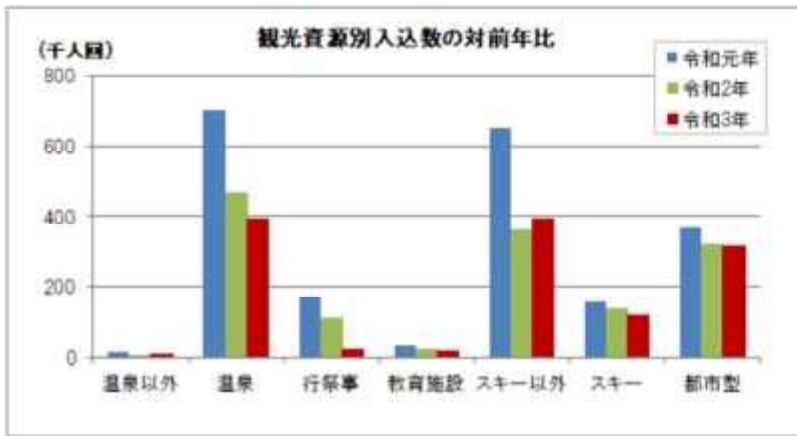
4 観光資源別入込状況

観光資源別では、新型コロナウイルスのまん延、特に夏期の第5波の影響により本年も行祭事の中止や施設の臨時休館・休園が相次いだことで、引き続き厳しい結果となった。

観光資源別入込数（人回）

	自然系観光資源		人文系観光資源	展示見学 教育施設	野外活動施設		観光資源		合計
	温泉以外	温泉	行祭事		スキー以外	スキー	都市型	その他	
令和元年	16,435	698,683	168,215	32,161	647,219	156,253	365,874	431,492	2,516,332
令和2年	7,307	465,668	110,080	21,887	360,595	138,538	317,642	297,885	1,719,602
令和3年	9,400	393,254	24,919	20,139	390,681	117,061	315,696	281,290	1,552,440
R2年差	2,093	-72,414	-85,161	-1,748	30,086	-21,477	-1,946	-16,595	-167,162
対R2年比	128.6%	84.4%	22.6%	92.0%	108.3%	84.5%	99.4%	94.4%	90.3%
R1年差	-7,035	-305,429	-143,296	-12,022	-256,538	-39,192	-50,178	-150,202	-963,892
対R1年比	57.2%	56.3%	14.8%	62.6%	60.4%	74.9%	86.3%	65.2%	61.7%
構成比(R3)	0.6%	25.3%	1.6%	1.3%	25.2%	7.5%	20.3%	18.1%	100.0%

※野外活動施設(スキー以外)には、屋内温水プール、登山などを含む。



○自然系観光資源（温泉以外）

町全体では昨年より2,093人回増の128.6%となったが、コロナ前との比較では7,035人回減の57.2%で、コロナ前の状況には回復していない。地区別では、長山・網張地区で前年比284人回減の63.8%(R1年比2,082人回減/19.4%)、西根地区が365人回増の124.6%(同2,303人回減/44.5%)で、昨年ほどではないものの合宿や教育旅行での入込がほとんどなかったことが影響したと見られる。小岩井地区では前年比141人回増の142.0%(同388人回減/55.1%)、玄武地区は1,871人回増の139.8%(同2,253人回減/74.5%)となった。

○自然系観光資源（温泉）

温泉利用も減少が続いている。地区別では、長山地区は前年比11,763人回減の92.9%、コロナ前のR1年比では96,187人回減/61.7%だった。鶯宿地区では44,245人回減の67.0%(R1年比118,359人回減/43.1%)、国見地区は259人回増の100.3%(同26,317人回減/79.3%)で前年並み、西根地区は15,260人回減の72.0%(同63,585人回減/38.2%)となった。このほか、玄武地区は699人回減の87.6%(同937人回減/84.0%)、昨年唯一入込が増加した滝ノ上地区も本年は減少に転じ、418人回減の前年比88.5%となったが、R1年比では846人回増の135.7%だった。登山者は増えたものの、立ち寄りの増加にはあまり結びつかなかったと見られる。

「いわて旅応援プロジェクト」の効果もあり県内客は回復傾向にあるものの、県外客の回復は鈍く、全体では前年比72,414人回減の84.4%、R1年比305,429人回減の56.3%と回復には至っていない。

○行祭事

行祭事は本年も新型コロナウイルスの影響を受け、「軽トラ市」以外の主要な行祭事は軒並み中止となった。これにより行祭事全体では、前年比 85,161 人回減の 22.6%、コロナ前との比較では 143,296 人回減の 24,919 人回(14.8%)と、「いわて雪まつり」の中止の影響が大きく出た。軽トラ市は、県独自の緊急事態宣言により 9 月が中止となったものの他の月は天気にも恵まれ、来訪者数は前年比 6,200 人回増の 24,200 人回(134.4%)と増加したが、コロナ前と比較すると 7,500 人回減(76.3%)に留まった。

主な行祭事の入込数と対前年比 ※雪まつりは町内会場分の入込のみ (人回)

行祭事	R1	R2	R3	前年差引	前年比	R1差引	R1年比
いわて雪まつり	109,580	92,080	0	-92,080	0.0%	-109,580	0.0%
軽トラ市	31,700	18,000	24,200	6,200	134.4%	-7,500	76.3%
雫石よしゃれ祭	7,300	0	0	0	-	-7,300	0.0%
南部よしゃれ全国大会	500	0	0	0	-	-500	0.0%
しずくいし産業まつり	17,000	0	0	0	-	-17,000	0.0%

* 9月の軽トラ市、および他の行祭事は開催中止。

○展示見学教育施設

長山地区は前年比 746 人回減の 14,034 人回(95.0%)と僅かに減少となったが、R1 年比では 6,488 人回減の 68.4%でまだコロナ前の 7 割程度に留まっている。その他地区は前年比 1,002 人回減の 6,105 人回(85.9%)、R1 年比 5,534 人回減(52.5%)でこちらも回復には至っていない。

○野外活動施設(スキー以外)

スキー以外の野外活動では、該当するすべての地区で昨年より増加したが、コロナ前の入込にはまだ届いていない。小岩井地区は 4,497 人回増の前年比 102.8%(R1 年比 221,761 人回減/43.0%)、長山地区はリフトやキャンプ場の利用増により 1,314 人回増の 103.1%(同 6,523 人回減/87.1%)。鶯宿地区は 737 人回増の 102.3%(同 8,566 人回減/79.1%)、国見地区は道の駅キャンプ場の利用が伸び、前年比 1,734 人回増の 113.1%(同 1,020 人回減/93.6%)、西根地区は 8,379 人回増の 176.3%(同 2,029 人回減/90.5%)だった。また滝ノ上地区では、紅葉期の三ツ石山への登山者が増えたことで、前年比 1,490 人回増の 126.4%、コロナ前と比較しても 2,105 人回増の 141.9%と着実に増加しているが、その一方で紅葉期の三ツ石山に登山者が集中し、キャパオーバーに加えマナー違反も散見されるなど、環境保全のための課題も見えてきた。その他地区は、4、5月に御所湖広域公園の利用が増えたことで、前年比 11,935 人回増(112.8%)の 105,288 人回(同 18,744 人回減/84.9%)だった。

○野外活動施設(スキー)

昨年末から気温が低く積雪の積み増しにつながりにくい状態が続いた一方で、3月には一転して気温が上昇し融雪が早まったことで入込に影響が出た。長山地区は前年より 1,922 人回減の 97.8%(R1 年比 14,251 人回減/85.9%)でほぼ昨年並みだったが、西根地区は 19,555 人回減の 60.5%(同 24,941 人回減/54.5%)と、地区により差が出た。「雫石町 3 スキー場共通シーズン券/リフト券」により大幅な入込減は避けられたと思われるが、全体では前年比 21,477 人回減の 84.5%(同 39,192 人回減/74.9%)で、減少が続いている。

○都市型観光資源

長山地区では 1 月、5 月、さらに第 5 波に見舞われた夏に入込の減少が見られたものの、前年比 9,220 人回増の 103.2%と微増。R1 年比では 22,895 人回減の 92.9%だった。その他地区では前年比 11,166 人回減の 58.4%(R1 年比 27,283 人回減/36.5%)と、昨年よりさらに減少が進んだ。全体では 1,946 人回減の 99.4%(同 50,178 人回減/86.3%)となった。

○その他観光資源

入込数は 281,290 人回で前年から 16,595 人回減の 94.4%と減少が続いている。コロナ前の R1 年比では 150,202 人回減の 65.2%。移動自粛と本来入込が増える時期の感染拡大により、利用者数が減少したことが影響したと見られる。

5 利用交通機関の状況

雫石町における観光レクリエーション客の主な利用交通機関の順位に変動はない。「自家用車」の利用が最も多く、1,309,785人回で構成比も84.4%となった。構成比に関しては大きな変動は見られないが、長時間不特定多数と一緒にすることを避けようとしたためか、「定期路線交通機関」は約2%まで減少した。

利用交通機関の状況と前年比

(人回)

	定路線 交通機関	貸切バス	自家用車	その他	合計
令和1年	83,221	314,065	1,990,345	128,199	2,515,830
構成比(R1)	3.3%	12.5%	79.1%	5.1%	
令和2年	54,408	167,317	1,431,177	66,700	1,719,602
構成比(R2)	3.2%	9.7%	83.2%	3.9%	
令和3年	29,957	147,569	1,309,785	65,129	1,552,440
構成比(R3)	1.9%	9.5%	84.4%	4.2%	
R1年比	36.0%	47.0%	65.8%	50.8%	
R2年比	55.1%	88.2%	91.5%	97.6%	

6 県外教育旅行客の入込状況

教育旅行、特に農業体験を伴うものは、本年も新型コロナウイルスの影響を受け、当初春・秋で計7校の受入れを予定していたが、1校を除きキャンセルに。唯一受入れた1校も、1泊2日の予定を日帰り体験に変更しての実施となった。一方で、昨年近場で修学旅行を実施する学校が増えたことで伸びた町内への修学旅行は、第5波に見舞われた8、9月に落ち込んだものの、感染拡大が落ち着きを見せた10月以降は急速に回復し、昨年引き続き大きな伸びを見せた。

本年の県外からの教育旅行客は、学校数がのべ300校、生徒数が22,776人回で、昨年と比較して学校数は112校(前年比159.6%)、生徒数は6,449人回(同139.5%)増加。コロナ前と比較しても学校数は156校増の208.3%、生徒数は9,556人回増の172.3%と大きく増加したが、小グループでの来訪が増えたことにより、学校数の伸びの割には人数の伸びは小さくなった。

内訳としては中学校が学校数、のべ人数共に最多で、ほぼ半数を占めた。



県外教育旅行客の入込割合



県外教育旅行客の地方別入込割合



学校数(内訳)	
小学校	56
中学校	149
高校	77
その他	18
計	300

学校数(地方別)	
北海道	11
東北	250
関東	25
中部	6
近畿	8
中国	0
四国	0
九州	0
沖縄	0
その他	0
計	300

学校種別で推移を見てみると、人数はまだ少ないものの小学生の伸びが著しく、のべ人数で昨年の約12倍、R1年比では126倍となった。小学生はすべて北海道と東北各県からで、中でも過去2年ゼロだった青森県が27校/1,387人回となり、小学生の発地別でほぼ半数を占めた。中学生は前年比114.1%で堅実に伸びている。高校は学校数では昨年の192.5%だったが、1校あたりの人数が少なく、のべ人数では129.0%だった。

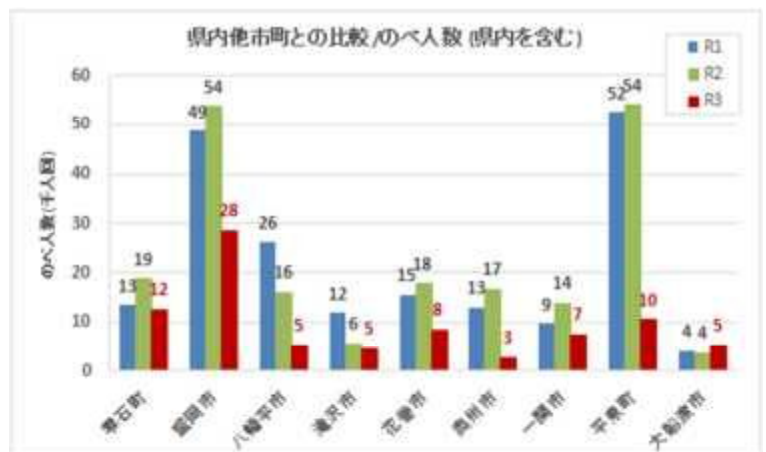
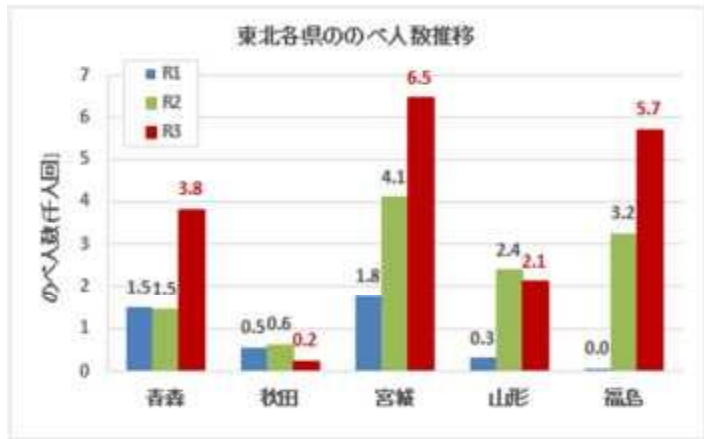


次に発地別にみると、本年も近場での修学旅行に振り替える傾向が続いたことから、県内を除く東北各県からの来訪がさらに伸びて、前年比 101 校/6,565 人回増で全体の 8 割を占めるに至った。なお関東からは、小グループでの来訪となったためか、学校数は昨年と同程度だったもののべ人数は 7 割ほどに減少した。

主な発地である東北各県からの入込状況を詳しく見ると、昨年と比較して青森県、宮城県、福島県からの来訪が増加。特に青森県はのべ人数で 2.6 倍と大きく伸びたが、中でも小学生の伸びが顕著だった。福島県も昨年に引き続き順調に伸びており、特に高校生が伸びたこともあり、R1 年と比較して学校数は 44 校増で約 7.3 倍、のべ人数では 5,130 人回増で約 14.8 倍と、コロナ下での一過性のものとならないようにしたい。一方で昨年増加した山形県は微減となった。

さらに県観光統計データから岩手県と他市町の状況を見てみる(県データは県内の入込も含み、本年のデータは現在公表されている第 3 四半期までの速報値)。岩手県全体では、前年同期間の比で 121,363 人回減の 46.2%で、半数以下に減少という厳しいものになった。

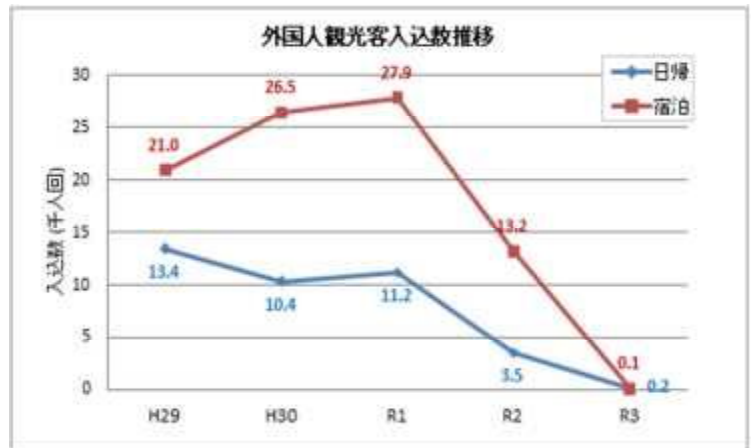
また主な市町と比較すると、昨年まで入込が多かった平泉町が前年の約 20%にまで減少。さらに奥州市で 15%、八幡平市、花巻市もそれぞれ前年の 32%、48%に減少した一方で、大船渡市は震災学習への需要のためか、前年の 140%ほどに増加した。



↑ 出典：県観光統計データ

7 外国人観光客の入込状況

本年、全国の外国人観光客の入込はおよそ246,000人で前年の94%減となり、当町でもほぼゼロという結果となった。ビジネス目的での入国の場合は検疫措置が緩和され一時往来が可能となったが、観光目的の場合は事実上ストップしたままで、かつ国際線の発着も成田、羽田などの主要空港のみに制限され、地方空港での運行再開には至っていない。花巻空港や仙台空港の台湾、上海、およびタイ便も、昨年以降運休が続いている。外国人観光客の入込数は昨年、コロナ前のR1年の42.7%、16,696人回に激減したが、本年は221人回で、前年の1.3%、R1年比0.6%にまで減少した。



また観光での訪日が大きく制限された状況を考えれば、この外国人旅行者については実際には国内在住者ではないかと思われる。

日帰り/宿泊の別では、日帰り客数は153人回で前年比3,346人回減の4.4%(R1年比11,037人回減/1.4%)、宿泊客数は68人回で前年比13,132人回減の0.5%(同27,833人回減/0.2%)だった。

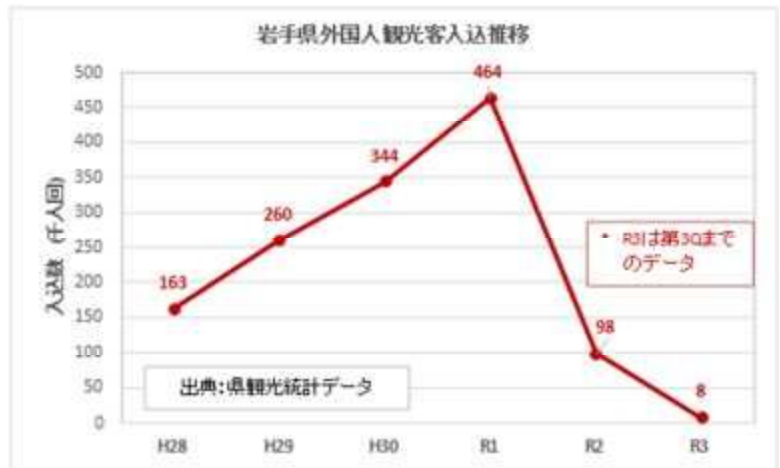
月毎にみると、冬期の1~3月と12月で本年の入込のほとんどを占めており、スキー/スノーボード目的での来訪がほとんどだったと思われる。

入込数が極端に少ないため国・地域別の解析は行わないが、主要国・地域毎の入込状況は以下の通り。

外国人観光客の入込状況 (人回)

地域 国籍等	H29			H30			R1			R2			R3 (2021)			
	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	
アジア	中国	65	271	336	193	485	678	1,938	712	2,650	32	248	280	1	0	1
	台湾	11,218	15,461	26,679	7,332	20,215	27,547	6,510	21,397	27,907	2,083	8,150	10,233	4	1	5
	香港	495	2,267	2,762	926	2,161	3,087	83	2,141	2,224	39	1,736	1,775	4	0	4
	韓国	162	689	851	152	719	871	258	350	608	12	60	72	0	0	0
	タイ	395	681	1,076	108	610	718	156	884	1,040	117	343	460	0	0	0
	シンガポール	2	129	131	22	132	154	64	188	252	2	33	35	0	0	0
	その他	53	106	159	282	377	659	261	328	589	163	52	215	15	2	17
オセアニア	オーストラリア	2	572	574	279	677	956	22	1,049	1,071	17	1,837	1,854	0	0	0
	その他	2	94	96	1	56	57	6	93	99	6	351	357	5	3	8
北米	アメリカ	172	223	395	15	263	278	185	250	435	170	162	332	17	54	71
	カナダ	1	124	125	1	48	49	1	40	41	2	16	18	0	0	0
ヨーロッパ	イギリス	0	22	22	2	30	32	14	31	45	5	18	23	0	0	0
	フランス	4	6	10	4	50	54	4	66	70	1	3	4	0	2	2
	ドイツ	32	154	186	43	280	323	19	166	185	3	38	41	0	0	0
	スイス	1	3	4	2	18	20	0	19	19	3	4	7	0	0	0
	スウェーデン	0	0	0	30	3	33	6	0	6	0	0	0	0	0	0
	その他	0	115	115	21	139	160	57	84	141	96	149	245	0	5	5
中南米	0	3	3	1	49	50	38	40	78	8	0	8	0	0	0	
アフリカ	0	0	0	12	2	14	2	0	2	0	0	0	2	0	2	
不明	826	38	864	928	147	1,075	1,566	63	1,629	740	0	740	105	1	106	
合計	13,430	20,958	34,388	10,354	26,461	36,815	11,190	27,901	39,091	3,499	13,200	16,699	153	68	221	

県の観光統計データから岩手県全体の状況を見ると、平成28年以降の推移は右グラフのようになる(本年のデータは現在公表されている第3四半期までの速報値)。岩手県を訪れた外国人観光客は平成28年以降順調な伸びを示していたが、新型コロナウイルスの影響で昨年3月以降大きく減少に転じた。本年はさらに減少し、第3四半期までで7,765人回と1万人を下回っている。日本全体では、本年の訪日外国人旅行者数は約24.6万人で、昨年の94%減と大幅な減少となっており、県の入込数も相応の結果と言える。



また他市町の状態については、八幡平市が第3四半期までの速報値で33,385人回減の156人回(前年比0.5%)、花巻市は9,130人回減の17人回(同0.2%)、平泉町は6,239人回減の275人回(同4.2%)で、当町も含めコロナ前と比べるとゼロに等しい結果となった。



オーストラリアなど、2回のワクチン接種を条件に外国人観光客の受入を再開する国・地域が出始めているが、日本はまだ再開に至っていない。日本交通公社が昨年行った外国人の海外旅行経験者に対する調査によれば、新型コロナウイルス終息後に訪れたい国・地域の1位は日本となっているが、海外旅行の検討を再開するタイミングとしては「抗ウイルス薬の開発など新型コロナウイルスの脅威が消滅してから」との意見が多くを占める。抗ウイルス薬の開発は進んでいるがまだ普及には至っておらず、海外旅行へ意識が向くにはまだ時間がかかるとみられる。また、今後来日して体験したいこと(複数回答可)に関しては、アジア圏居住者で「アウトドアアクティビティ」、「自然や風景の見物」といった密を避けるものの割合が増加する一方、欧米豪居住者では「アウトドアアクティビティ」が微増した他は記載があるすべての選択枝で減少しており、遠隔地への旅行に対して消極的な印象が感じられる。今後欧米豪をターゲットとする場合、当町の何をストロングポイントとするか、細かな設計が必要になると考えられる。

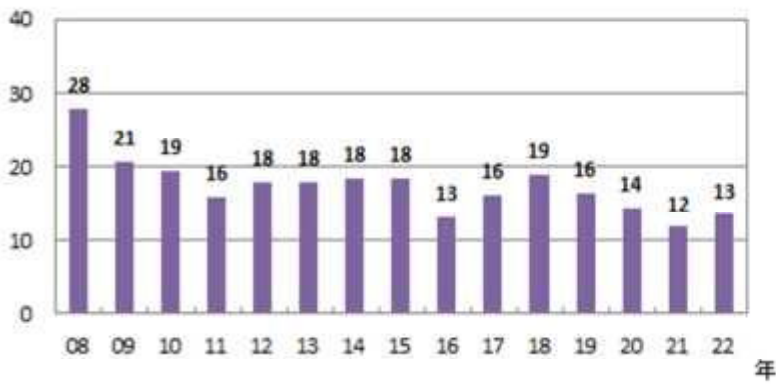
8 2021～2022シーズン・スキー客入込状況

(単位:人回)

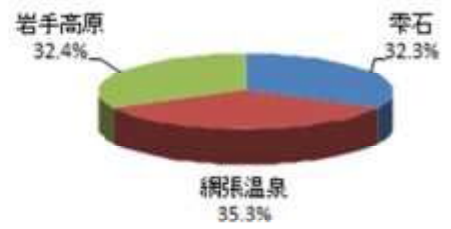
	年次	12月	1月	2月	3月	4月	計	備考
	栗石スキー場	08	15,850	61,000	59,500	33,000		169,350
09		16,308	24,131	23,935	21,148		85,522	12/12～3/29
10		7,410	24,078	20,716	14,600		66,804	12/18～3/28
11		6,005	20,004	21,440	3,855		51,304	12/18～
12		3,728	18,293	18,577	9,600		50,198	12/22～3/20
13		6,726	19,862	15,498	8,035		50,121	12/15～3/31
14		7,990	17,993	18,699	10,189		54,871	12/14～3/30
15		12,236	18,745	15,388	7,568		53,937	12/13～3/29
16		2,994	11,489	11,011	5,498		30,992	12/23～3/27
17		2,315	17,810	17,167	9,566		46,858	12/16～3/26
18		7,613	22,138	21,140	9,658		60,549	12/16～3/25
19		4,608	21,300	19,500	8,666		54,074	12/15～3/31
20	5,400	21,740	19,020	5,720		51,880	12/21～3/29	
21	3,000	11,700	9,770	4,355		28,825	12/26～3/21	
22	4,100	16,620	14,900	7,540		43,160	12/25～3/27	
網張温泉スキー場	08	3,955	15,404	16,110	12,815	297	48,581	12/21～4/6
	09	3,606	19,285	14,324	13,003		50,218	12/19～3/29
	10	4,553	15,904	13,502	11,104	1,841	46,904	12/23～3/28、4/3・4
	11	2,166	15,686	14,508	4,346		36,706	12/25～
	12	3,510	18,659	15,447	12,940	1,330	51,886	12/23～4/1
	13	5,833	18,406	14,405	13,026	2,012	53,682	12/15～4/7
	14	5,524	18,332	14,351	13,459		51,666	12/14～3/30
	15	7,475	17,600	15,099	11,821	1,065	53,060	12/13～4/5
	16	2,067	16,465	13,488	10,310		42,330	12/28～3/27
	17	1,602	16,327	16,565	16,565	838	51,897	12/18～3/26、4/1・2
	18	6,830	18,797	16,953	12,047	168	54,795	12/16～4/1
	19	5,279	17,275	14,409	12,047		49,010	12/15～3/31
20	2,860	17,025	15,757	10,190		45,832	12/21～3/29	
21	2,710	16,936	13,982	10,533		44,161	12/26～3/28	
22	3,286	17,788	15,670	10,481		47,225	12/25～3/27	
岩手高原スノーパーク	08	4,967	26,158	20,088	8,382		59,595	12/15～3/30
	09	7,585	28,378	23,491	9,693	841	69,988	12/13～4/5
	10	8,506	37,026	24,307	8,436	736	79,011	12/19～4/4
	11	6,296	32,681	25,896	3,687		68,560	12/19～
	12	7,233	34,543	22,343	9,840	1,262	75,221	12/22～4/8
	13	8,073	33,304	22,825	8,746		72,948	12/15～3/31
	14	11,274	31,006	22,090	11,128		75,498	12/14～3/30
	15	13,520	31,434	21,247	9,269		75,470	12/13～3/29
	16	5,748	26,818	18,586	6,126		57,278	12/23～3/27
	17	3,682	25,227	21,494	9,749	1,105	61,257	12/15～4/9
	18	11,574	28,418	21,634	8,995	723	71,344	12/9～4/8
	19	8,863	25,257	18,294	6,217	783	59,414	12/15～4/7
20	4,245	21,072	14,035	4,842	262	44,456	12/15～4/5	
21	3,165	19,875	14,277	5,580	300	43,197	12/26～4/4	
22	2,367	19,016	14,468	6,344	1,116	43,311	12/18～4/10	
合計	08	24,772	102,562	95,698	54,197	297	277,526	
	09	27,499	71,794	61,750	43,844	841	205,728	
	10	20,469	77,008	58,525	34,140	2,577	192,719	
	11	14,467	68,371	61,844	11,888	0	156,570	
	12	14,471	71,495	56,367	32,380	2,592	177,305	
	13	20,632	71,572	52,728	29,807	2,012	176,751	
	14	24,788	67,331	55,140	34,776	0	182,035	
	15	33,231	67,779	51,734	28,658	1,065	182,467	
	16	10,809	54,772	43,085	21,934	0	130,600	
	17	7,599	59,364	55,226	35,880	1,943	160,012	
	18	26,017	69,353	59,727	30,700	891	186,688	
	19	18,750	63,832	52,203	26,930	783	162,498	
20	12,505	59,837	48,812	20,752	262	142,168		
21	8,875	48,511	38,029	20,468	300	116,183		
22	9,753	53,424	45,038	24,365	1,116	133,696		

万人

年次別スキー客入込推移(全体)

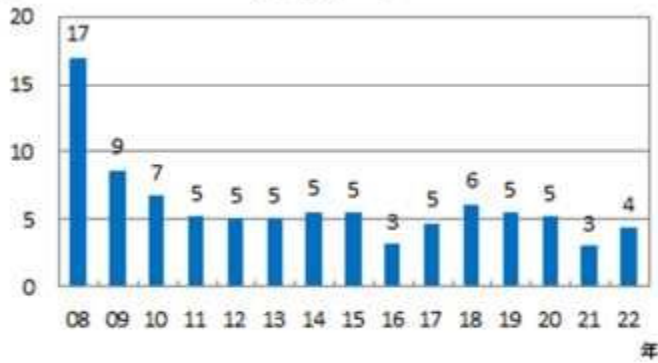


各スキー場の入込割合



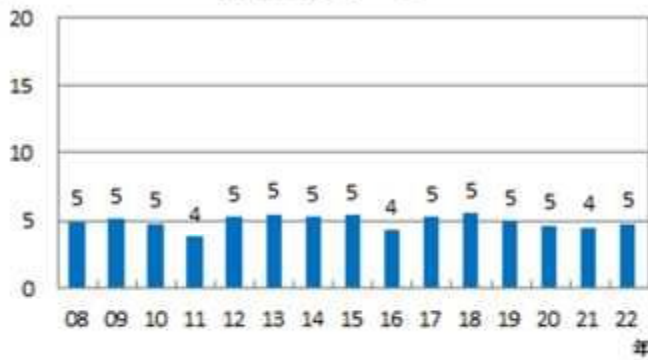
万人

雫石スキー場



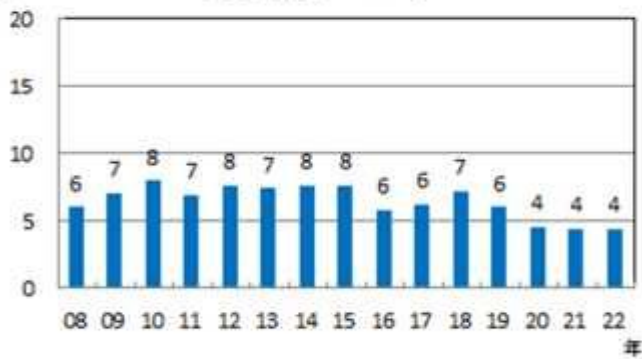
万人

網張温泉スキー場

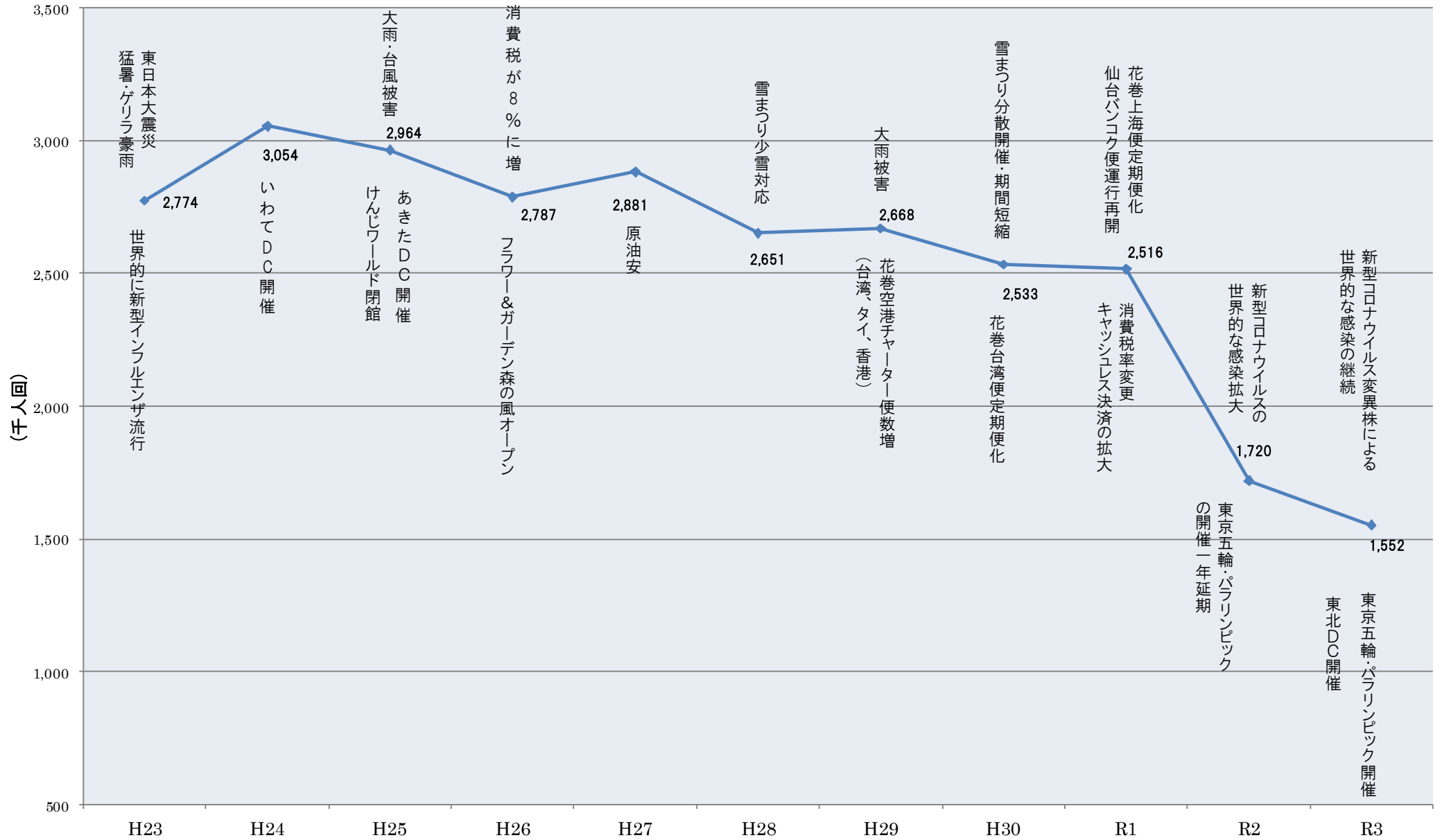


万人

岩手高原スノーパーク



9 雫石町観光レクリエーション客入込数の推移 H23～R3



(参考) 旧基準 (S57~H27 まで)

